

まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。
問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・81113



全国制した、小学生水球

優秀選手に輝いた福岡南小学校の永岡さん



▲全国大会終了後にチームで記念撮影。
下の右から2番目が永岡さん
◀市長へ結果報告

福岡南5丁目に住む小学5年生の永岡知大さんが所属する福岡市の少年水球チーム「福岡BRAVES」が全国大会ジュニアオリンピックカップ夏季水球競技大会の小学生の部で優勝を飾りました。また永岡さんはすばらしい活躍が認められ、このクラスで13人しか選ばれない優秀選手に選ばれました。

永岡さんは三兄弟の末っ子。お兄さん二人も水球をしていて「兄たちの影響で小学1年生から水球を始めました。立ち泳ぎは5kgの重りを持っての練習もあります。練習はとても苦しいけど、試合になると楽しいです。試合に勝ったこともうれしかったし、優秀選手に選ばれたことも、すぐくうれしかった」と笑顔で語っていました。

月曜以外は毎日が猛練習で遊ぶ暇がないという永岡さん。オリンピックへと夢が広がります。

まちにあふれた、すてきな音楽 音楽散歩



▲オープニングを務めた津屋崎中学校吹奏学部

「音楽」と「まち歩き」を掛け合わせたイベント「音楽散歩」が10月10日、津屋崎千軒一帯で開催されました。まちおこしセンターなごみや藍の家、豊村酒造などでは、津屋崎中学校吹奏学部の演奏、津軽三味線やジャズのライブなどがあつたほか、今年はおフリカ音楽のリズムに合わせてのパレードもありました。古賀市から訪れた女性は「楽しみながら散策できました」と語っていました。

秋の楽しみ、十二単の祭王

宮地嶽神社の秋季大祭



▲祭王として招かれたMEGUMIさん

五穀豊穰、豊漁を祈願する秋のお祭りで、多くの観光客が集まる宮地嶽神社の秋季大祭が催されました。平安絵巻さながらの大名行列で注目の祭王。毎年有名な女性歌手などが招かれています。今年には元グラビアアイドルで現在はテレビやラジオなどで活躍中のMEGUMIさんが祭王でした。よく訪れているという宗像市の男性は「行列も楽しみですし、開運花火大会も楽しみ」と語っていました。

7か国のジャーナリストが津屋崎に

国連ハビタット・アジアジャーナリスト会議

福岡市のアクロス福岡で開かれたアジアジャーナリスト会議の視察として、津屋崎地域に7か国のジャーナリストが9月27日、訪れました。アジア都市ジャーナリスト会議とは、国連ハビタット（国連人間居住計画）と西日本新聞社の共催で毎年開催されている国際会議です。アジア太平洋地域における持続可能な都市開発の実現や都市連携の促進を図る中で、メディアの役割を考えると大変ユニークな試みをしている会議です。この日は、藍の家や波折神社など津屋崎千軒をまち歩きしたり、津屋崎ランチのまちづくりの取り組みなどを聞いたりしていました。津屋崎ランチの山口代表は「昔のもの、古いものを大切にしている地域性が注目されました」と語っていました。



▲豊村酒造の天井なども見学

手を上げて渡りましょう

秋の交通安全県民運動



▲元気よく手をあげて渡る児童たち

9月21日から9月30日までの秋の交通安全県民運動に合わせ、市や宗像警察署、宗像交通安全協会などによる現地指導が9月21日、福岡南小学校前交差点でありました。朝の登校時間に合わせ、小山市長や毛利宗像警察署長たちは交差点で児童たちに「安全に気をつけましょう」などと声がけしていました。

匠の技、きらり

商工会青年部が市内中学生に特別出前授業



▲調理のコツを教わる福岡東中学校の生徒

市内にある三つの中学校の2年生を対象にして、商工会青年部が9月中旬、各学校で特別出前授業をしました。商工会青年部が取り組む「福岡の仕事人」事業の一環であり、昨年度に続き2度目となります。建設業や飲食業など、仕事人が持つ匠の技を、実技や講義などで生徒たちに丁寧に教えていました。